

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3823006	学習指導と学校図書館 Learning Guidance and School Library	田中聖子	✓	専門	2	選択	1後期

**科目の概要**

学校図書館は「教育課程の展開に寄与」するため、児童生徒の主体的な学びを支える様々な情報資源を収集し、利用に供している。本科目では、学校図書館がもつ「読書センター」、「学習センター」、「情報センター」の機能を活かし、児童生徒の学習支援を効果的に進めるようにするため、学校司書として必要な知識や技能を身に付ける。  
 ★司書教諭として働いた経験から、学校図書館を活用した授業や情報活用能力育成の実践事例を紹介し、授業者への支援や授業者と協働した指導の方法を具体的に解説する。  
 (ディプロマ・ポリシー②④⑤)

学修内容	到達目標
① 学校図書館と教育課程の関連、学校図書館を活用した学習の意義を理解する。 ② 児童生徒の発達段階や学習内容に応じた学校図書館メディア選択のための知識・技能を身につける。 ③ 学習指導における学校図書館の活用方法を知り、学校司書の役割を認識する。 ④ 児童生徒の情報活用能力を育てる学校図書館の役割と指導方法を理解し、学校司書の役割を認識する。	① 学校図書館と教育課程の関連、学校図書館を活用した学習の意義を説明することができる。(ディプロマ・ポリシー②⑤) ② 児童生徒の発達段階や学習内容に応じた学校図書館メディアを選択できる。(ディプロマ・ポリシー②④) ③ 学校図書館を活用した授業実践事例から学校司書の役割と具体的な支援方法を説明することができる。(ディプロマ・ポリシー②④) ④ 児童生徒の情報活用能力育成に係る学校司書の役割と具体的な指導・支援方法を説明することができる。(ディプロマ・ポリシー②④⑤)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例
---------------------	----------------------------

前に踏み出す力	主体性	課題や授業で紹介した参考資料について、積極的に図書館等で調べることができる。
	働きかけ力	
	実行力	よりよいブックトークとなるよう、積極的に情報収集したり、児童図書を読んだりして、選書や構成を熟慮したシナリオを作成することができる。
考え抜く力	課題発見力	学校図書館のあるべき姿と現状とを比較することで、学校図書館が抱える課題について客観的に捉えることができる。
	計画力	期日までに課題作成ができるよう計画的に進めることができる。
	創造力	教科等の学習内容に対し、多角的に学校図書館の支援を考えることができる。
チームで働く力	発信力	相手意識、目的意識をもって発表することができる。
	傾聴力	他者の発言や発表をよく聴き、質問・感想・アドバイスを言うことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻・無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキストは使用しない。毎回配付するプリントをテキストとする。  
 参考文献：「探究 学校図書館学 第3巻 学習指導と学校図書館」全国学校図書館協議会 2020年 2,000円(本体)  
 「思考を深める探究学習 アクティブ・ラーニングの視点で活用する学校図書館」桑田てるみ著 全国学校図書館協議会 2016年 2,000円(本体)  
 その他の参考文献は、授業の中で随時紹介する。  
 必要に応じて教材として視聴覚資料を使用する。

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：図書館、学校司書に関する科目全て  
 資格との関連：学校司書

学修上の助言	受講生とのルール
--------	----------

科学絵本、科学読み物、調べ学習向けの図書、ブックリストを公共図書館などで積極的に探し、内容を確認しておく と学校司書として選書する際の知識や技能を高めることができる。	①授業開始から30分以上の遅刻は欠席扱いとする。 ②6回欠席した場合、履修は放棄扱いとする。 ③私語等により、授業の進行を妨げる場合、退席を命ずることがある。 ④教員が許可した場合を除き、携帯電話の使用を禁止する。 ⑤欠席した場合は、次回授業で配付資料を取りに来ること。
--	---

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	30	①	✓	筆記試験では、学校図書館を活用した学習指導・支援に関する専門用語の理解と授業で学んだ内容についての理解度を問う論述問題を出題する。（30点） 評価ポイント ①学校図書館活用に関わる専門用語の理解 ②学習指導において学校図書館を活用することの意義についての理解 ③学習内容と関連したブックトークの際に留意すべきことについての理解 ④授業計画立案、授業の際の児童生徒及び教職員への具体的な支援についての理解 ⑤探究の過程に沿った児童生徒への具体的な指導・支援についての理解
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
平常評価	レポート	30	①	✓	毎回授業終了時、授業での学び、気づき、疑問等を考察、小レポートとして記入、提出。（500字以内）（2点×15回＝30点） 評価ポイント 授業の内容を的確に捉え、考察できている。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①		具体的な学習指導場面を想定し、児童生徒の関心意欲を高めたり、学習への理解を深めたりする図書を選択した後、ブックトークのシナリオを作成、実演をする。ブックトークを聞き合い、感想や気づきを振り返りシートに記入する。 ・ブックトークのシナリオ作成と提出（20点） ・実演と振り返りシートの記入と提出（10点）	
			②	✓		
			③	✓		
			④			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体性：課題に対し図書館等を利用し、調べることができる。</li> <li>・実行力：教材やねらいに合ったブックトークの選書ができている。</li> <li>・課題発見力：各回の授業の振り返りの際、学校図書館が抱える課題や学校司書のあるべき姿を考察できている。</li> <li>・計画力：ブックトークの準備を期日までに計画的に進めることができる。</li> <li>・創造力：具体的な学習指導場面を想定し、学校司書としての多様な支援方法を考えることができる。</li> <li>・発信力：相手意識、目的意識をもって、ブックトークの実演をすることができる。</li> <li>・傾聴力：他者の発言や発表をよく聴き、反応できる。</li> <li>・規律性：遅刻・無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。</li> </ul>	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
総合評価割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)評価 ・筆記試験の評価ポイントに記載している事項について、9割以上回答できている。 ・小レポートの評価総計が27点以上獲得できている。 ・ブックトークのシナリオを期日までに提出し、学習指導内容や児童生徒の発達段階に合った選書による聴き手をひきつける実演ができている。 ・社会人基礎力にある学修態度が9割以上達成できている。 A(優)評価 ・筆記試験の評価ポイントに記載している事項について、8割以上回答できている。 ・小レポートの評価総計が24点以上獲得できている。 ・ブックトークのシナリオを期日までに提出し、学習指導内容や児童生徒の発達段階に合った選書による実演ができている。 ・社会人基礎力にある学修態度が8割以上達成できている。	B(良)評価 ・筆記試験の評価ポイントに記載している事項について、7割以上回答できている。 ・小レポートの評価総計が21点以上獲得できている。 ・ブックトークのシナリオを期日までに提出し、学習指導内容に合った選書による実演ができている。 ・社会人基礎力にある学修態度が7割以上達成できている。 C(可)評価 ・筆記試験の評価ポイントに記載している事項について、6割以上回答できている。 ・小レポートの評価総計が18点以上獲得できている。 ・ブックトークのシナリオを期日までに提出し、実演ができている。 ・社会人基礎力にある学修態度が6割以上達成できている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 現代の教育課題と学校図書館  多様な教育課題と児童生徒の学びを支える学校図書館の機能と役割について学ぶ。	講義	今後の学校教育の方向性と学校図書館の機能と役割を説明できる。	(予習) 学校図書館法を読む。 (復習) 「学校図書館ガイドライン」、現行学習指導要領改訂時の中教審答申(概要)を読む。	180	主体性 課題発見力 規律性
2	教育課程と学校図書館  学習指導要領の内容を確認しながら、教育課程の展開における学校図書館を活用した読解力・情報活用能力の育成について学ぶ。	講義 ICT活用：文部科学省サイトから学習指導要領解説を検索し、内容の構成を確認する。  ※各回とも、前回提出の小レポートについて、口頭によるフィードバック	読解力、情報活用能力の育成と学校図書館との関わりを説明できる。	(予習) 「PISA型読解力」、「教育課程」、「カリキュラム」の用語の意味を調べる。 (復習) 小学校、中学校いずれかの学習指導要領 総則・国語解説の学校図書館に関連する記述を読む。	180	主体性 課題発見力 規律性
3	教育課程に寄与する学校図書館メディアと情報サービス  発達段階に応じたメディアの選択と児童生徒、教職員への情報サービスについて学ぶ。	講義 ICT活用：授業者からの依頼を想定し、学習内容に適したメディアを検索する。	学校図書館メディアの選択と情報サービスの際に留意すべきことを説明できる。	(予習) 学校図書館のメディアの種類について調べる。 (復習) 授業の中で紹介した参考図書、ブックリストやウェブサイトを読んだり、閲覧したりする。	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
4	学校図書館全体計画とカリキュラム・マネジメント  児童生徒につけたい力に基づく計画の作成とカリキュラムの編成について学ぶ。	講義	カリキュラム・マネジメントの意味と学校図書館全体計画が必要なわけを説明できる。	(予習) カリキュラム・マネジメントの用語の意味を調べる。 (復習) インターネットを活用し、複数の学校の学校図書館全体計画を閲覧し、評価考察する。	180	主体性 課題発見力 規律性
5	学校図書館を活用した授業の実践事例  事例をもとに、具体的な学校図書館の活用方法と学校司書による児童・生徒及び教職員への支援方法を学ぶ。	講義 ICT活用：学校図書館を活用した授業実践例を検索し、見つけた情報を紹介し合い考察する。	学校図書館を活用した授業を行う際の学校司書の具体的な支援方法を説明できる。	(予習) 小中学生、高校生の時の学校図書館を活用した学習経験を振り返り、よかったことや問題点を整理する。 (復習) 授業で配付する学校図書館を活用した授業の指導案を熟読し、学校司書の役割を考察する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
6	学習指導に活かすブックトーク①  児童生徒の関心意欲を高めたり、学習への理解を深めたりするためのブックトークの方法について学ぶ。  ※第14回授業でのブックトーク実演について説明	講義 ICT活用：教科書出版社サイトを閲覧し、サイトの見方や必要な情報の探し方を確認する。	ブックトークの方法と留意点を説明できる。	(予習) ブックトークとは何かについて調べる。 (復習) 具体的な学習指導場面を想定し、ブックトークのための選書を行う。 ブックトークのシナリオを第14回の授業までに作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
7	情報活用能力の育成と評価① 【課題の設定Ⅰ】  探究学習のステップと必要なスキルについて学ぶ。	講義	探究の過程を理解し、ステップごとに必要なスキルを説明できる。	(予習) 自身のこれまでの学校図書館を活用した調べ学習やレポート作成の経験を振り返る。 (復習) 小学校、中学校いずれかの学習指導要領「総合的な学習の時間」解説を読む。	180	主体性 課題発見力 規律性
8	情報活用能力の育成と評価① 【課題の設定Ⅱ】  課題設定時の指導・支援方法を学ぶ。	講義 演習	児童生徒が課題の設定をする際の具体的な指導・支援方法を説明できる。	(予習) 「思考ツール」とは何かについて調べる。 (復習) 探究学習における課題設定時の学校図書館の具体的な指導・支援方法をまとめる。	180	主体性 課題発見力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	情報活用能力の育成と評価② 【情報の収集Ⅰ】 学校図書館の利用指導の内容と方法を学ぶ。	講義 ICT活用：百科事典の使い方の指導に有効な資料を出版社サイトで確認する。	学校図書館の利用指導の内容と方法を説明できる。	(予習) 日本十進分類について調べ、第1次区分を暗記する。 (復習) 学校図書館の利用指導の具体的な内容を整理する。	180	主体性 課題発見力 規律性
10	情報活用能力の育成と評価② 【情報の収集Ⅱ】 情報収集時の指導・支援方法を学ぶ。 様々な資料の活用方法と記録の方法について学ぶ。	講義 ICT活用：公共図書館や学校図書館が作成したパスファインダーを検索し、見つけた情報を紹介し合う。	児童生徒が情報収集する際の具体的な指導・支援方法を説明できる。	(予習) インターネットを活用し、図書館が作成する様々なパスファインダーを調べる。 (復習) 探究学習における情報収集時の学校図書館の具体的な指導・支援方法をまとめる。	180	主体性 課題発見力 規律性
11	情報活用能力の育成と評価③ 【情報の整理・分析】 情報の整理・分析時に有効な情報カード、思考ツールの活用方法を学ぶ。	講義	児童生徒が情報の整理・分析をする際の具体的な指導・支援方法を説明できる。	(予習) 「情報カード」とは何かについて調べるとともに、その活用方法についても調べる。 (復習) 探究学習における情報の整理・分析時の学校図書館の具体的な指導・支援方法をまとめる。	180	主体性 課題発見力 規律性
12	情報活用能力の育成と評価④ 【情報のまとめ・表現】 発達段階や目的に応じた表現方法、成果物の評価、保存の方法について学ぶ。	講義	児童生徒が情報をまとめ、成果物を作成する際の具体的な指導・支援方法を説明できる。	(予習) レポート作成時の引用の仕方や出典の記載方法を調べ、整理する。 (復習) 探究学習における情報のまとめ・表現時の学校図書館の具体的な指導・支援方法をまとめる。 全国学校図書館協議会作成の「情報資源を活用する学びの指導体系表」を読み、探究の過程全体を振り返り、必要な指導・支援内容を再確認する。	180	主体性 課題発見力 規律性
13	特別な教育的ニーズに応ずる学校図書館の整備と支援 特別な教育的ニーズに応じた具体的な学校図書館の整備と学習支援方法について学ぶ。	講義	特別な教育的ニーズに応じた具体的な学校図書館の整備と学習支援方法を説明できる。	(予習) 「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(読書バリアフリー法)を読む。 (復習) 公益社団法人日本図書館協会 学校図書館部会「学校図書館における特別なサービスと資料の提供に関する基本方針—図書館利用に困難のある児童生徒のために—」2020年6月を読む。	180	主体性 課題発見力 規律性
14	学習指導に生きるブックトーク② ブックトークの実演を聞き合い、感想等を交流する。	講義 発表 発表への口頭によるフィードバック	ブックトークの実演をするとともに、ブックトークを聞き合った感想等を交流できる。	(予習) ブックトーク実演の練習をしておく。 (復習) ブックトークの実演を通じて得た気づきをもとに今後の学びへの課題を整理する。 Google classroomで、ブックトークのシナリオを提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	学校図書館の展望と課題 授業全体のふりかえり、今後の望ましい学校図書館の姿を考える中で、学校司書に求められる資質・能力を考察する。	オンデマンド ・講義 ・課題提出	今後、求められる学校図書館の姿と学校司書の資質・能力について説明できる。	(予習) これまでの授業を振り返る。 (復習) 「学習指導と学校図書館」に関して、学校司書の役割をまとめ、自身が目指す学校司書像を思い描き、目標を立てる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力